Innovation in Motion TSUBAKI

つばき　取扱説明書

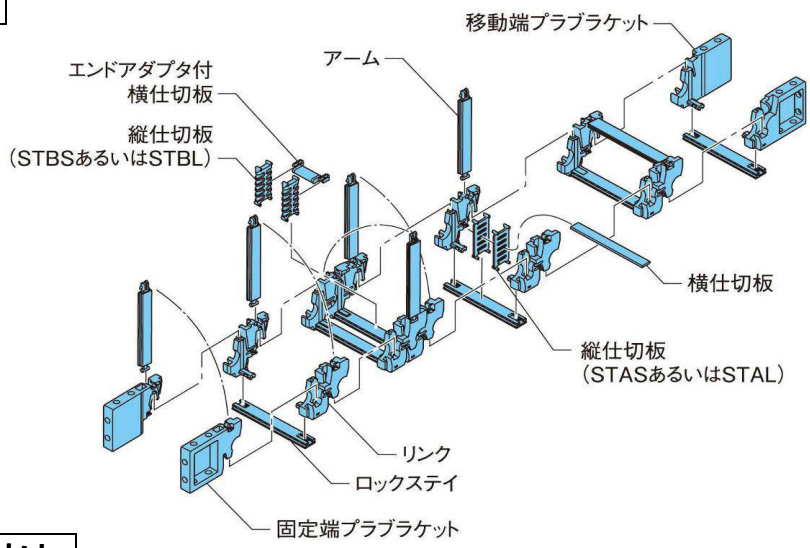
ケーブルベヤ®

TKR26H40 ・ TKR28H52

（旧 TKR0260）　（旧 TKR0280）

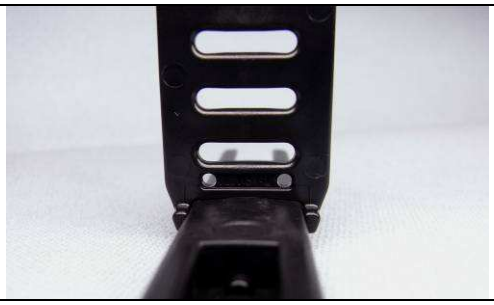
（注）作業の際には適切な保護具（安全眼鏡、手袋、安全靴など）を着用してください。

1 構造・名称

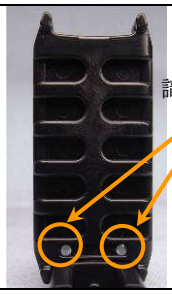


2 仕切板の取付け

仕切板は、ケーブル・ホース挿入時に取付けます。アームを開けた（ロックステイだけを取付けた）状態で、以下の手順にしたがって、縦仕切板をロックステイの内周面に取付けてください。

1）縦仕切板の片方の係合部をロックステイに引っ掛けます。	2）縦仕切板の片方の係合部を引っ掛けたまま他方の係合部を押し込むと縦仕切板が取付きます。
	

縦仕切板は、以下の 4 種類あります。

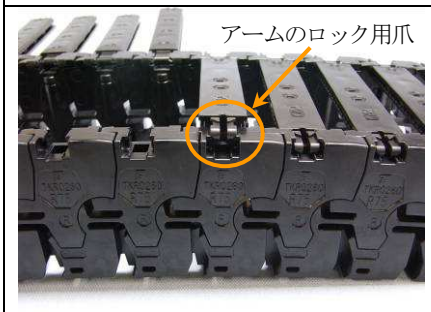
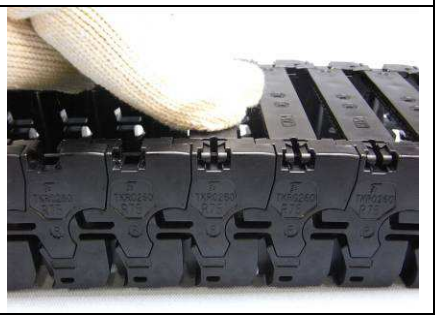
STAS DSA 用スライドタイプ	STAL DSA 用ロックタイプ	STBS DSB 用スライドタイプ	STBL DSB 用ロックタイプ
			

注）仕切板は、２リンク毎に取付けるため、１ヵ所に入る数量を確認ください。

注）隣り合うロックステイに連続して縦仕切板を取付けるとケーブルベヤが屈曲したときに干渉するため、仕切板の取り付け間隔（ピッチ方向）は、2 リンク毎以上としてください。

3 アームのはめ込み

「つばき　プラケーブルベヤ　TKR26H40・28H52」はケーブル･ホース収納の作業性を考慮し、アームを半開きの状態で納入しています。以下の手順にしたがって、アームをはめ込んでください。

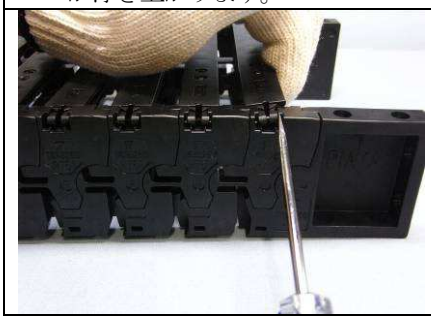
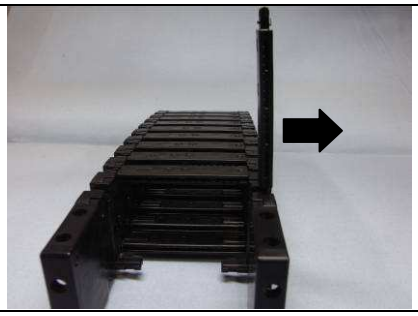
1）アームのロック用爪をリンクのくぼみにあわせます。	2）アームのロック用爪をリンクのくぼみに押し込みます。
	

注）アームのロック用爪の押し込みは手で押し込んでください。
そのほかの方法で押し込むと爪が破損することがあります。

4 アームの取外し

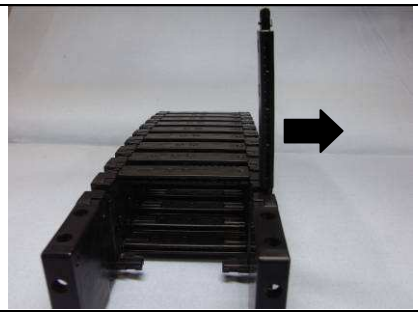
アームの取外し方法は2通りあります。以下の手順にしたがって、アームを取外してください。

＜取外し方法①＞

1）アームを押し上げながら、アームのロック用爪とリンクの側方の隙間にマイナスドライバーを挿入し、こじると片側のロック用爪が浮き上がります。	2）1）と同様に他方のロック用爪を浮き上がらせるとアームが浮き上がります。	3）アームを90度回転（ロック用爪が上になるように）させ、横に抜き取るとアームが外れます。
		

注）先端の幅が4㎜以下のマイナスドライバーをご使用ください。

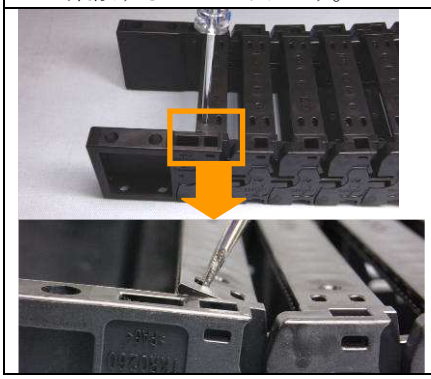
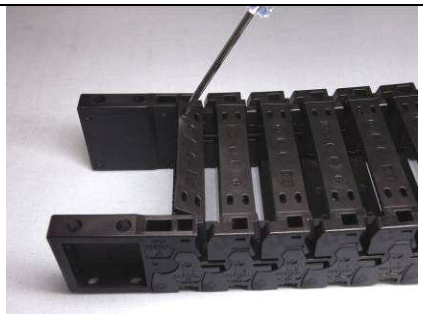
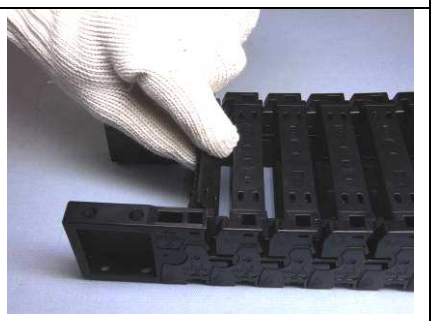
＜取外し方法②＞

1）アームのロック用爪とリンクの隙間（下図参照）にマイナスドライバーを挿入し、ひねると片側のロック用爪が浮き上がります。	2）1）と同様にして、マイナスドライバーを反対側にひねるとアームが浮き上がります。	3）アームを 90 度回転（ロック用爪が上になるように）させ、横に抜き取るとアームが外れます。
		

注）先端の幅が4㎜程度のマイナスドライバーを使用ください。

5 ロックステイの取外し

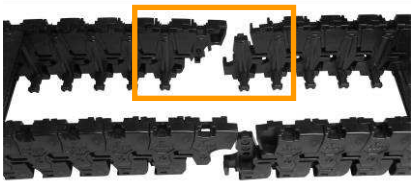
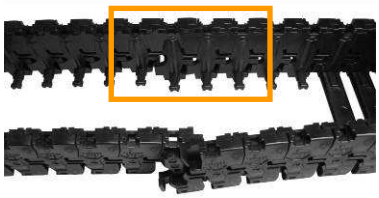
以下の手順にしたがって、ロックステイを取外してください。

1）ロックステイのくぼみにマイナスドライバーを挿入し、軽くこじるとロックステイが少し浮き上がります。 注）マイナスドライバーを強くこじりすぎるとロックステイが破損し、飛散することがあります。	2）1）と同様に反対側（ロックステイ長さ方向）のくぼみにマイナスドライバーを挿入し、軽くこじるとロックステイが大きく浮き上がります。	3）手でロックステイを取ります。
		

注）先端の幅が 4㎜ 以下のマイナスドライバーをご使用ください。

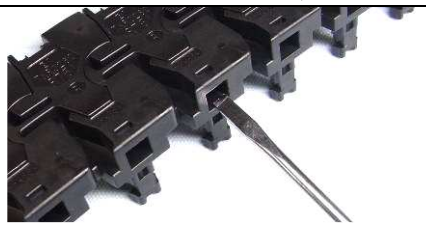
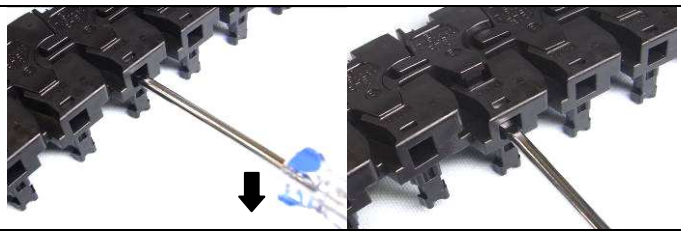
6 ケーブルベヤの連結およびブラケットの取付け

長尺編成（100 リンク以上）の場合は原則として分割して納入します。以下の手順にしたがって、連結してご使用ください。
アームおよびロックステイの取外し方法は前項を参照ください。ブラケットの取付け方法も同様の手順です。

1）両端各 5 リンク以上のアームおよびロックステイを取外し、方向をそろえます。	2）リンクの上側の凸部を隣りのリンクの凹部にはめ込みます。	3）リンクの下側をはめ込みます。
		
⬇ □部拡大図	⬇ □部拡大図	⬇ □部拡大図
4）反対側のリンクも同様に連結し、アームおよびロックステイを取付けてください。		

7 ケーブルベヤの分割およびブラケットの取外し

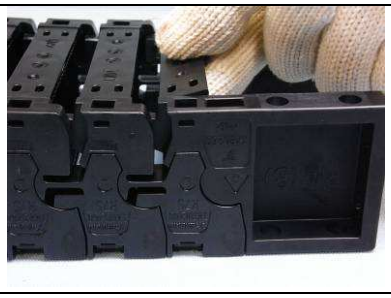
以下の手順にしたがって、必要な長さに分割してご使用ください。ブラケットの取外し方法も同様の手順です。

1）分割したい部分の両側各 5 リンク以上のアームおよびロックステイを取外し、リンク下面（内周側）の孔にマイナスドライバーを差し込みます。	2）マイナスドライバーを矢印の方向にこじるとリンクが外れます。
	

注）先端の幅が 4㎜ 以下のマイナスドライバーをご使用ください。

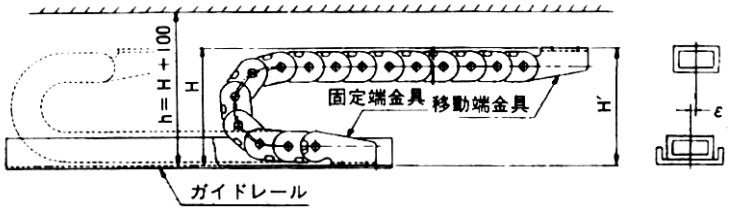
８ ロックステイの取付け

以下の手順にしたがって、ロックステイを取付けてください。

1）ロックステイを 45° 以上傾けた状態で、横方向からリンクの突起とロックステイのくぼみをあわせます。	2）ロックステイの中央部を持ち、回転させます。	3）ロックステイの両端から 30㎜ 付近を押し込み、ロックステイを取付けます。
		

９ 取扱上の留意点

ケーブルベヤには、ご使用によっては、フリースパン部にふくらみやたわみがあらわれますが、当社能力線図内で選定されている場合は、使用上問題ありません。



1．機械装置の移動端取付高さ（H'）は、ケーブルベヤの高さ　H＋（30～50）　としてください。
2．ケーブルベヤの空間高さ（h）は、H＋100　としてください。
3．ガイドレールを取付けてください。
4．移動端ブラケットと固定端ブラケットの取付面誤差（ε）は、6㎜ 以下にしてください。
5．ケーブル・ホースは屈曲性、耐摩耗性に優れた移動用のものをご使用ください。
6．ワイヤーブレード外装のものは、いたみやすいことがあるので、使用を避けてください。
7．ケーブル・ホースは積重ねて使用すると摩耗が生じやすいので、横に並べるか、横仕切板をご使用ください。
8．ケーブル・ホースは長さに余裕をもってセットし、適正な長さに調整のうえ、両端部でクランプしてください。
9．ガイドレール内に異物があると、破損の原因になりますので取除いてください。
１０．次の部品は部品送りといたしますので取付時に組み込み願います。
　・ 仕切板

◎ プラブラケットの取付面に凹凸があると、ブラケットが破損する場合もありますので、なるべく滑らかな平面に取付け願います。また、プラブラケットの取付ボルトを締めすぎると破損する場合もありますので下記推奨締付トルクにて締付け願います。

ボルトサイズ	推奨締付トルク
M6	2.6 N･m

No. CV-MT10-001　　2012 年 10 月 1 日発行 ©株式会社　椿本チエイン